

血液内科45 DLd

☆適応疾患名: 多発性骨髄腫

1コース

【1, 2コース】

薬剤	標準投与量	投与方法	投与スケジュール			
			1week	2week	3week	4week
ダラザレックス	16mg/kg	点滴静注	day1	day8	day15	day22
レブラミド	25mg/body	内服(寝る前)	day1~21			
レナデックス	※20mg/body	内服(朝食後)	day1,2	day8,9	day15,16	day22,23

※ダラザレックス投与日はレナデックスの代わりにデキサート16.5mg/body

【3~6コース】

薬剤	標準投与量	投与方法	投与スケジュール			
			1week	2week	3week	4week
ダラザレックス	16mg/kg	点滴静注	day1		day15	
レブラミド	25mg/body	内服(寝る前)	day1~21			
レナデックス	※20mg/body	内服(朝食後)	day1,2	day8,9	day15,16	day22,23

※ダラザレックス投与日はレナデックスの代わりにデキサート16.5mg/body

【7コース以降】

薬剤	標準投与量	投与方法	投与スケジュール			
			1week	2week	3week	4week
ダラザレックス	16mg/kg	点滴静注	day1			
レブラミド	25mg/body	内服(寝る前)	day1~21			
レナデックス	※20mg/body	内服(朝食後)	day1,2	day8,9	day15,16	day22,23

※ダラザレックス投与日はレナデックスの代わりにデキサート16.5mg/body

ダラザレックス(ダラツムマブ): ダラザレックス点滴静注100mg, 400mg

【血管外漏出時の組織侵襲: 不明(壊死性ではない)】

※15時間以内に投与終了、遮光・冷所で24時間保管可能

レブラミド(レナリドミド): レブラミドカプセル5mg

デキサート or レナデックス(デキサメタゾン): デキサート注射液6.6mg or レナデックス錠4mg

プレメディケーション: ダラザレックス投与60分前にカロナール500mg 1錠、
レスタミン10mg 5錠、モンテルカスト10mg 1錠を内服

	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ダラザレックス	●							●※						
レブラミド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
デキサート or レナデックス	●	●						●	●					

	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	●※							●※						
	●	●	●	●	●	●	●							
	●	●						●	●					

※3~6コースはダラザレックスの day8, 22を省略、7コース以降はday15も省略

H30.2.15 作成

H31.1.10 改訂

ダラザレックスの希釈後の総量及び投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (mL/h)			
		0～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間以降
初回投与	1000mL	50	100	150	200
2回目投与	500mL※1				
3回目投与以降	500mL※1	100※2	150	200	

※1 初回投与開始時から3時間以内に infusion reaction が認められなかった場合、500mL とすることができる

※2 初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/h以上で infusion reaction が認められなかった場合、100mL/h から開始することができる

◎必ずポリエーテルスルホン製の0.2ミクロンのインラインフィルターを用いて投与すること

【初回投与】

	本管	側管
30分	生理食塩液 100mL	デキサート16.5mg 生理食塩液 100mL
1時間		
1時間		ダラザレックス16mg/kg 生理食塩液 1000mL (投与速度50mL/h)
1時間		(投与速度100mL/h)
1時間		(投与速度150mL/h)
最後まで		(投与速度200mL/h)

カロナール500mg 1錠
 レスタミン10mg 5錠 内服
 モンテルカスト10mg 1錠

※ダラザレックス+生食は全量を1000mLとする

【2回目投与】

	本管	側管	
30分	生理食塩液 100mL	デキサート16.5mg 生理食塩液 100mL	← カロナール500mg 1錠 レスタミン10mg 5錠 内服 モンテルカスト10mg 1錠
1時間			
1時間		ダラザレックス16mg/kg 生理食塩液 500mL (投与速度50mL/h)	※ダラザレックス+生食は 全量を500mLとする
1時間		(投与速度100mL/h)	
1時間		(投与速度150mL/h)	
最後まで		(投与速度200mL/h)	

【3回目投与以降】

	本管	側管	
30分	生理食塩液 100mL	デキサート16.5mg 生理食塩液 100mL	← カロナール500mg 1錠 レスタミン10mg 5錠 内服 モンテルカスト10mg 1錠
1時間			
1時間		ダラザレックス16mg/kg 生理食塩液 500mL (投与速度100mL/h)	※ダラザレックス+生食は 全量を500mLとする
1時間		(投与速度150mL/h)	
最後まで		(投与速度200mL/h)	

ダラザレックス時間短縮投与

ダラザレックスの希釈後の総量及び投与速度(当院倫理委員会許可)

※同意書必要

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度(mL/h)			
		0～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間以降
初回投与	1000mL	50	100	150	200
2回目投与	500mL※1				
3回目投与	500mL※1	100※2	150	200	
4回目投与以降	500mL※1	200			

	本管	側管	
30分	生理食塩液 100mL	デキサート16.5mg 生理食塩液 100mL	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> カロナール500mg 1錠 レスタミン10mg 5錠 モンテルカスト10mg 1錠 内服 </div> <p>※ダラザレックス+生食は 全量を500mLとする</p>
最後まで		ダラザレックス16mg/kg 生理食塩液 500mL (投与速度200mL/h)	

注)3回目投与時に最終速度が200mL/hでインフュージョンリアクションが認められなかった患者に限り、4回目投与以降の投与速度を200mL/hで開始し最後まで行う。また上記のように前投薬服用のタイミングを変更する。